



2005 / 2006
Deutschland in Japan
日本におけるドイツ

少子高齢社会と家族のための総合政策

Familienpolitik in der alternden Gesellschaft 日本におけるドイツ年2005/2006
記念国際シンポジウム

日時：2006年3月11日(土)13:30～17:00 (受付開始：12:30)

場所：よみうりホール(読売会館7階)

*JR-有楽町駅下車・東京国際フォーラム口すぐ

主催：筑波大学、ベルリン日独センター、ドイツ-日本研究所

マックスプランク国際社会保障法研究所、フリードリヒ・エーベルト財団

後援：ドイツ大使館、内閣府、厚生労働省、茨城県、読売新聞社

日本ドイツ学会、日本社会保障法学会、日本家族<社会と法>学会

日本法政学会、日本成年後見法学会

協力：筑波大学比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト、全日空

趣旨：このシンポジウムは、日本におけるドイツ年2005/2006の記念行事として、日独両国の研究機関等が協力して開催するものである。

このシンポジウムの目的は、少子高齢社会において重要な役割を担う家族を支えるための総合政策が必要であるとの認識のもと、戦後一足早く経済復興と少子高齢化を経験してきたドイツの家族政策の理念・現状・課題を学ぶとともに、わが国の少子化対策との比較検討を行うこと、日独の研究者・政策担当者による21世紀の「家族のための総合政策」に関する提言を行うことである。

■プログラム

- 13:30 **主催者開会の挨拶**
岩崎洋一 (筑波大学学長)
フロリアン・クルマス (ドイツ-日本研究所所長)
- 13:40 **主催者としてのシンポジウム趣旨説明**
ハラルト・コンラット (ドイツ-日本研究所副所長)
- 13:50 **日本とドイツにおける家族概念・構造の歴史的展開**
姫岡とし子 (筑波大学人文社会科学研究科教授)
- 14:10 **日本の家族支援に関する諸政策の現状と課題**
増田雅暢 (内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当)
- 14:30 **休憩**
- 14:45 **ドイツにおける家族のための総合政策の現状と課題**
マルテ・リスタウ-ヴィンクラー
(連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長)
- 15:05 **欧州諸国における家族のための総合政策の比較検討**
ハンス・ベルトラム教授
(フンボルト大学ミクロ社会学研究所所長、連邦議会第7家族報告書委員会委員長)

総合司会

阿部陽子 (NHKアナウンス室、筑波大学88年卒)

■報告者等紹介



岩崎 洋一

Prof. Dr. Iwasaki Yoichi

筑波大学学長

1969年東京大学にて理学博士。1984年から筑波大学教授。1998年から2002年まで筑波大学副学長、2004年から現職。1994年仁科記念賞受賞。文部科学省科学技術・学術審議会委員、同政策評価に関する有識者会議委員、同独立行政法人評価委員会委員。



フロリアン・クルマス

Prof. Dr. Florian Coulmas

ドイツ-日本研究所所長

1975年ベルリン自由大学修士修了、1977年ビーレフェルト大学にて博士号、デュッセルドルフ大学にて大学教授資格を取得。2004年から現職。



ハラルト・コンラット

Dr. Harald Conrad

ドイツ-日本研究所副所長

1991年ケルン大学経済学部入学、1994年一橋大学商学部、1996年慶応義塾大学大学院商学研究科に留学。2000年ケルン大学にて経済学博士。



姫岡 とし子

Prof. Dr. Himeoka Toshiko

筑波大学人文社会科学研究科教授

フランクフルト大学歴史学部修士課程修了、奈良女子大学大学院人間科学研究科比較文化学専攻修了(文学博士)。2005年から現職。



増田 雅暢

Masuda Masanobu

内閣府参事官(少子・高齢化対策第一担当)

1976年東京大学教養学部卒業、1979年から1980年まで米国・シラキュース大学大学院留学(政治学)、1981年厚生省に入省。2004年から現職。



マルテ・リスタウ-ヴィンクラー

Malte Ristau-Winkler

連邦家族・高齢者・女性・青少年省家族政策部長

歴史学および社会学を学び2種類の国家試験に合格。現在は連邦家族・高齢者・女性・青少年省において、家族政策・社会福祉事業・市民参加部の部長。

15:25 **21世紀の「家族のための総合政策」
の目標と課題**

ベルント・バロン・フォン・マイデル

(マックスプランク国際社会保障法研究所前所長)

15:45 **休憩**

16:00 **全体討論**

コーディネータ：江口隆裕

(筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長)

討論者：ベルント・バロン・フォン・マイデル

ハンス・ベルトラム

マルテ・リスタウ-ヴィンクラー

姫岡とし子

増田雅暢

ハラルト・コンラット

エーファ・ホーネルライン

16:40 **21世紀の「家族のための総合政策」
に関する提言**

本澤巳代子 (筑波大学人文社会科学研究所教授)

16:45 **シンポジウム総括**

ベルント・バロン・フォン・マイデル

(マックスプランク国際社会保障法研究所前所長)

16:55 **主催者閉会の挨拶**

上田浩二 (ベルリン日独センター副事務総長)

17:00 **終了**

同時通訳者

相澤啓一 (筑波大学人文社会科学研究所助教授、NHK
教育テレビ・ドイツ語講座講師)

桑折千恵子、石川桂子



ベルント・バロン・フォン・マイデル

Prof. Dr. Bernd Baron von Maydell

マックスプランク国際社会保障法研究所

前所長

1960年マールブルク大学にて法学博士、
1971年ボン大学にて大学教授資格取得。
1981年からボン大学労働法・社会保障法
研究所所長、1992年から2002年までマッ
クスプランク国際社会保障法研究所所長。
1998年にドイツ連邦共和国連邦功労十字
賞・一等、2002年勲三等瑞宝賞。



江口 隆裕

Prof. Eguchi Takahiro

筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長

1977年北海道大学法学部卒業、厚生省に入省。
2002年から筑波大学ビジネス科学研究科教授、
2004年から現職。



ハンス・ベルトラム

Prof. Dr. Hans Bertram

フンボルト大学ミクロ社会学研究所所長

社会学・心理学・法律学を学び、1976年デュッセル
ドルフ大学にて哲学博士、1980年ハイデルベル
ク大学にて大学教授資格取得。1992年から現職。



エーファ・マリア・ホーネルライン

Dr. Eva Maria Hohnerlein

マックスプランク国際社会保障法研究所研究員

ザールラント大学にて法学博士の学位取得。1986
年から現職。



本澤 巳代子

Prof. Dr. Motozawa Miyoko

筑波大学人文社会科学研究所教授

1983年関西大学大学院法学研究科単位取得満期
退学、1999年関西大学にて法学博士、2001年か
ら筑波大学社会科学系教授、2004年から現職。



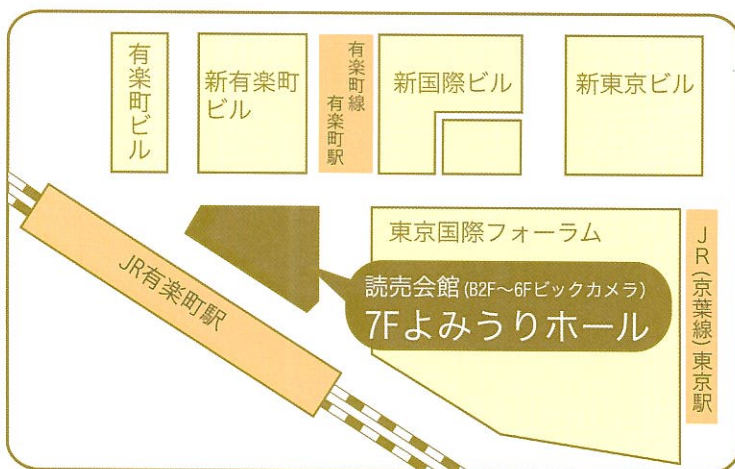
上田 浩二

Prof. Ueda Koji

ベルリン日独センター副事務総長

1970年東京大学教養学部卒、東京大学人文系大学
院比較文学・比較文化専攻博士課程中退。1993年
から筑波大学現代語・現代文化学系教授。2004年
から現職。

会場案内



申し込み・問い合わせ先

筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻「国際シンポジウム」係

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1

FAX : 029-853-6611 TEL : 029-853-4097

E-mail : jd-kazoku@social.tsukuba.ac.jp Web : <http://www.social.tsukuba.ac.jp/jd-kazoku/>

